

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

8月号



Yamaga City Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)

山鹿市民医療センター 第9回市民公開講座開催

「健幸都市 山鹿」の実現をめざして

～いま知っておきたいメタボの健康リスクとがん対策～

日常生活でひそかに進行する疾病のひとつに「メタボリックシンドローム（以下、メタボ）」があります。生活習慣が原因となるこの病気には、糖尿病、肥満、脂質異常症などが含まれます。メタボは疑いがある人も含めて日本に1500万人以上いるといわれ、中高年では特にその割合が高くなっています。メタボに気づくのが遅れると重大な病気につながることもあり、なかでもメタボとがんが関連することが明らかになってきています。今回の市民公開講座ではこの点に注目し、メタボの抱えるリスクやそれに関連するがんの診療等についてわかりやすく解説します。

当センターの代謝内科に今年着任した専門医や多職種の診療チームからの講演に加えて、がん患者の糖尿病診療では国内のトップリーダーである大橋 健 先生（国立がん研究センター中央病院）を演者としてお招きします。メタボとがんについて正しく理解し、「健幸都市 山鹿」での生活に役立てていただければと思います。

会場では無料の健康チェックや専門家による相談コーナー等を設ける予定です。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご来場ください。

日 時：令和8年10月3日（土）

開場 13時30分

開演 14時00分

閉会 16時00分

場 所：山鹿市民交流センター 文化ホール
その他：参加費無料、参加の事前申込み不要

講演内容：Ⅰメタボとがんチームで取り組む

- ①「あなたは大丈夫？」メタボについて知ろう！！
山鹿市民医療センター 地域健診室 保健師 稗田 早苗
- ②食事で防ぐメタボとがん～今日からできる健康習慣～
山鹿市民医療センター 栄養管理室 管理栄養士 平山 育実
- ③「メタボとがん」ーがん予防するためにできること
山鹿市民医療センター 代謝内科 科長 西田 周平

Ⅱメタボに関連した消化器癌の診療

- ①内視鏡治療を中心に
山鹿市民医療センター 消化器内科 科長 本原 利彦
- ②外科治療について
山鹿市民医療センター 消化器外科 科長 増田 稔郎

Ⅲそこが知りたい！糖尿病患者さんのがんとうがん患者さんの糖尿病

国立がん研究センター中央病院 総合内科
科長（医学博士） 大橋 健 先生

お礼(まとめ)山鹿市民医療センター 病院事業管理者 別府 透



大橋 健 先生のプロフィール

1992年東京大学医学部卒業。東大病院糖尿病・代謝内科勤務を経て2010年より国立がん研究センター中央病院勤務。総合内科長として、「糖尿病腫瘍科」を標榜し、糖尿病を持ちながらがんの治療に臨む方の支援に取り組む。日本糖尿病学会・日本癌学会の「糖尿病と癌に関する委員会」委員。

超音波検査士資格取得!

2026年2月、公益社団法人 日本超音波医学会が実施している、消化器（腹部）領域の超音波検査士に認定されました。

超音波検査はエコーとも言われ、超音波（人間の耳では聞こえない高い周波数の音）を使って検査を施行するため、被曝や出血などのリスク・侵襲性が低く、

患者負担が比較的少ない検査です。当センターでは別府先生のご指導のもと、肝臓中心ではありますが、呼気中に排泄され、副作用が少ないソナゾイドという造影剤を使った検査も行っています。

超音波検査を通して、微力ながら診断や治療のお役に立ちたいと思い、より専門的な知識・技術を高めるために資格取得に挑戦しました。今回、無事に認定されましたが、まだまだ学ぶことが多いのが現状です。先生方に「超音波検査の画像や結果は信頼できる」と思っていただき、検査依頼を検討してもらえるように、慢心することなく更なるレベルアップを目指し、引き続き日々の検査業務に励む所存です。

当センター臨床検査科には、消化器（腹部）/心臓/体表/泌尿器領域の超音波検査士に認定されている技師が在籍しており、2025年6月より一般社団法人日本臨床衛生検査技師会から「品質保証施設」に認証されています。市民のみなさまに質の高い医療を提供できるよう、これからも臨床検査科一同精進してまいります。

（臨床検査技師 赤松 美紅）



栄養の日

8月4日は「栄養の日」です。栄養は健康の維持・増進だけでなく、疾病の予防や治療、さらにはQOLの向上にも大きく関わっています。

高齢化が進む中、生活習慣病予防対策に加え、低栄養やフレイル予防の重要性も高まっており、適切な栄養管理は、感染症への抵抗力維持や治療効果の向上、入院期間の短縮などにもつながることが知られています。

私たち管理栄養士は、検査値や疾患だけでなく、患者さんの日々の食事や生活背景にも目を向け、栄養状態を評価し、必要に応じて他職種と連携しながら



ら支援を行うことが、地域医療における重要な役割だと思っています。

「食えること」を支えることは、「生きること」を支えることであり、栄養の日を機に、日常診療における栄養管理の重要性を再認識し、多職種連携のもと、質の高い医療の提供につなげていけたらと思います。

（管理栄養士 平山 育実）

栄養の日

たのしく食べる、カラダよろこぶ

8/4 栄養の日 8/1→7 栄養週間

医療最前線 (176)

胆嚢結石症・急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術

— 地域連携を通じた安全な治療のために —

外科医長 遊佐 俊彦

2026年4月から山鹿市民医療センター外科に赴任しました遊佐俊彦と申します。今回は有病率が高い良性疾患である胆嚢結石症・急性胆嚢炎についてお話しさせていただきます。

胆嚢結石症は日常診療において頻繁に遭遇する疾患であり、無症候性胆石から胆石発作、急性胆嚢炎、総胆管結石症、胆石性膵炎まで幅広い病態を呈します。高齢化の進展に伴い、有症状胆石症や併存疾患を有する患者さんの診療機会も増加しており、適切なタイミングでの専門医紹介が重要となっています。

胆嚢結石症の診断には腹部超音波検査が第一選択となりますが、胆管拡張や肝胆道系酵素の上昇を認める症例では、総胆管結石の合併を念頭にCTやMRCPの評価が必要となります。症候性胆嚢結石に対する標準治療は腹腔鏡下胆嚢摘出術です。また、無症候性胆石であっても、胆嚢壁肥厚や結石充満などで癌が否定できない症例については手術が推奨される場合があります。同様に腹腔鏡下胆嚢摘出術が検討されます。本術式は低侵襲であり、術後疼痛の軽減や早期回復が期待できることから、現在では胆嚢摘出術の第一選択となっています。当センターにおいても、胆嚢結石症および軽症から中等症の急性胆嚢炎に対して積極的に腹腔鏡下手術を導入しています。

急性胆嚢炎に対しては、診療ガイドラインに基づき、全身状態や炎症の程度を評価したうえで早期手術を基本方針としています。一方、高度炎症例や重

篤な併存疾患を有する症例では、経皮経肝胆嚢ドレナージ (PTGBD) や内視鏡的経乳頭的胆嚢ドレナージ (ETGBD) などの胆嚢ドレナージを併用し、安全性を確保した上で待機的手術を検討しています。術前検査にて総胆管結石を認めた症例についても、消化器内科と連携しながら内視鏡的胆道治療 (ERCP) を先行した後に、待機的な外科的治療が可能となっております。

また、高齢患者や抗血栓薬内服患者の増加に伴い、周術期管理の重要性はますます高まっています。当センターでは麻酔科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科など関連診療科と密接に連携し、個々の患者背景に応じた治療戦略を構築しています。

胆石症は比較的頻度の高い疾患である一方、急性胆嚢炎や胆管炎へ進展した場合には重症化のリスクを伴います。当センターでは本年度より麻酔科・外科医師の増員により、緊急手術を要する症例への対応も可能となっておりますので、胆石発作、急性胆嚢炎やその既往例、胆管結石合併が疑われる患者さんがおられましたら当科までご相談ください。

当センターは、地域の先生方との連携を重視し、迅速な診療および適切な手術治療の提供に努めています。今後も地域完結型医療の一翼を担うべく、安全で質の高い外科診療を提供してまいります。

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

原稿を募集しております

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。
400～800字程度を基準とします。

送付先

〒861-0593 山鹿市山鹿511番地
山鹿市民医療センター 地域医療連携室

外来担当医表

8月

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)～11:00

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 後藤由比古	—	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※ 宮本 英明
消化器内科	梶原 雅人	竹熊 梨祐	本原 利彦	梶原 雅人 竹熊 梨祐	本原 利彦
内分泌・代謝内科	西田 周平	—	西田 周平	—	西田 周平
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※ 中山 智子 清水 博	清水 博 大庭 圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 樽美 備一 松下 祥大	工藤 智志 樽美 備一 松下祥大/坂上諒明	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 坂上 諒明	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透(新患のみ) 石河隆敏 / 増田稔郎 遊佐俊彦 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 増田 稔郎 遊佐 俊彦
乳腺外科(予約制)	—	※ 富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村 圭輔	手術(担当医)	今藤 淳之助	※神波 大己 教授	中村 圭輔
小児科	小澄 将士	小澄 将士	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ★※石井真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後診療は、16:00受付終了					
耳鼻咽喉科(予約制)	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	手術	特殊再来のみ	古島 京佳	古島 京佳	古島 京佳(午前) ★非常勤医師(午後)
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00～16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00～16:00) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00～16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科(予約制)	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	泌尿器科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来【予約制】

8月

◎特殊・専門外来の診療時間等詳細については、各診療科にお尋ねください。

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法	担 当 医	毎週 火曜・水曜	各 診 療 科
	※ 宮 本 英 明	毎週 金曜（がん薬物療法専門医）	
小 児 科 予 防 接 種	小 澄 将 士	毎週 水曜（受付時間13:30～16:00）	Aブロック
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜（午後）	Bブロック
P E G 外 来	担 当 医	毎月 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります

◆最新の担当医表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター



〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL 0968-44-2185(代)
FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)
<http://yamaga-medical-center.jp>